

高松宮賜杯第69回全日本軟式野球大会(2部)長崎県大会 実施要項

1. 主催 長崎県軟式野球連盟
2. 主管 島原市軟式野球連盟
3. 協賛 マルエス株式会社
4. 会期 令和7年5月24日(土)・25日(日)【予備日】5月31日(土)・6月1日(日)
※悪天候により日程を順延する場合、日程・会場は県連と主管支部が協議の上決定する。
※チームの意向は反映されないため、設定された日程及び会場で出場できないチームは、棄権とする。
5. 会場 島原市営球場ほか
6. 参加チーム 2025年度に長崎県軟式野球連盟に登録されたC級チームで、県連盟15支部代表1チーム及び開催地推薦1チームを原則とする。
7. 出場資格 チーム編成は、監督・主将を含め9名以上25名以内で構成し、スポーツ安全保険等に加入していること。
8. 適用規則 2025年度公認野球規則、競技者必携に記載の項目及び別に定める特別規則を適用する。
9. 大会規律 不正出場、その他規律違反については(公財)全日本軟式野球連盟規程細則により処理する。
10. 使用球 (公財)全日本軟式野球連盟公認球 マルエスM号を使用する。
11. 参加申込 各支部代表チームは、所定の参加申込書(エクセルデータ)に必要な事項を正確に記入し、所属支部を経由して2025年5月12日(月)までに主管支部へE-Mailで提出すること。
※選手欄は、監督・主将以下、その他の選手は背番号の若い方から記入すること。
※参加申込書提出後は、選手の追加、変更及び背番号の変更は一切認めない。
12. 組合せ抽選 組合せ抽選会は、参加申込書提出期限の翌日に主管支部役員により代理抽選を行う。
13. 参加料 20,000円 大会第一日目の会場本部で試合前に打順表と交換で納入する。
14. 監督会議 行わない。
15. 開(閉)会式 開会式は行わない。閉会式は大会最終日の決勝戦終了後に表彰式と兼ねて行う。
16. 表彰 優勝チームに賞状と優勝盾を授与し、県代表として九州大会の出場権を与える。
17. その他 大会中の不慮の負傷、疾病について応急措置は行うが、それ以外の責任は負わない。

※問い合わせ先 島原市軟式野球連盟 兼元善啓

☎ 090-1877-4607

試合方法

- 1) 準決勝戦までは7回戦とし、決勝戦は9回戦とする。ただし、日没、降雨の恐れがある場合は7回戦とすることができる。
- 2) 得点差によるコールドゲームは、準決勝までは5回以降7点差、決勝戦は7回以降7点差とする。
- 3) 準決勝までは5回を完了して、また決勝戦は7回を完了して降雨等で試合が継続できない場合もコールドゲームを適用する。
- 4) 降雨等で上記に記載する回が未完了または完了して同点の場合は、再試合とせず特別継続試合とする。特別継続試合でのコールドゲームもある。
- 5) 雨天でも試合を行う場合があるので、大会本部と連絡を取り合うこと。
- 6) 大会運営上、準々決勝までは回数にかかわらずに試合開始から1時間30分を超えて新しいイニングに入らない。
- 7) 時間の区切りは、1時間30分に到達した時点で先攻チームが勝っている場合は、その裏の回まで行う。後攻チームが勝っている場合は、その攻撃中の打者が打撃を終了した時点で試合を打ち切り、先攻チームが攻撃中のときはその回の終了までとする。
- 8) 準々決勝戦までは7回を終了して、または制限時間を超えて同点の場合、準決勝戦は7回を終了して同点の場合は、延長戦を行わずに直ちにタイブレーク方式で決着をつける。
- 9) 決勝戦は9回を終了して同点の場合は、通常延長戦を12回まで行い、または試合開始後3時間を経過した時点で、なお勝敗が決しない場合は次の回よりタイブレーク方式で決着をつける。決勝戦を7回戦とした場合は、通常延長戦を10回まで行い、勝敗が決しない場合は次の回よりタイブレーク方式で決着をつける。
- 10) 本大会は、指名打者制度を採用する。但し採用の可否はチームの判断とする。
- 11) その他必要に応じて、全日本軟式野球連盟、長崎県軟式野球連盟の競技規定を適用し適宜に処理する。

競技運営に関する注意事項

- 1) 出場チームは必ず背番号(0番から99番まで、監督30、主将10)、及び左袖に県名をつけること。
- 2) 組み合わせの若番を1塁側とする。
- 3) 登録原簿に名前があっても打順表に記載されていない者は、その試合の出場は認めない。
- 4) 打順表の提出は、その日の第1試合が試合開始30分前、第2試合以降は全試合1時間経過時とし、審判員立会いのもと攻守を決定する。(打順表は本部で用意します)
- 5) 用具は必ず全日本軟式野球連盟公認品を使用すること。
- 6) 捕手は、危険防止のため(公財)全日本軟式野球連盟公認のヘルメット・マスク・プロテクター・レガースを着用し、ファウルカップの装着を義務付ける。
- 7) 打者・走者・次打者及びベースコーチは、競技者必携記載のヘルメットを着用のこと。
- 8) 木製バット以外は、(公財)全日本軟式野球連盟公認バットであること。